

 東京立川
ロータリークラブ

【司会進行】

SAA委員会 坂本敏城委員

【開会点鐘】 中野裕司会長

【ロータリーソング斉唱】

『奉仕の理想』

【お客様の紹介】 中野裕司会長

【会長挨拶】 中野裕司会長

【お客様挨拶】

東京昭島RC 鈴木一昭会長

東京昭島RC 創立50周年記念事業

実行委員会 三田 忠実行委員長

【幹事報告】 田中 太幹事

【ニコニコ発表】

親睦委員会 岩田明彦委員

【出席率の発表】

出席委員会 井上修一委員長

	会員数	107名
2月9日(金)	出席義務会員	101名
	出席免除会員	6名
	当日出席者	92名
	出席免除会員の当日出席者	3名
	出席率	88.46%
1月26日の出席率		77.67% → 94.12%

【卓話講師紹介】 プログラム委員会
宇都木健太副委員長

【卓話】 (株)ヒューマン・タッチ

代表取締役 森川隆司様

【閉会点鐘】 中野裕司会長

Weekly Report

2018.2.9 第2780回 例会



【会長挨拶】 中野裕司会長

皆様1月12日に行われました合同賀詞交歓会、覚えていらっしゃるでしょうか。その中で空手の演武会をお見せ致しました。立川クラブの空手の猛者たちそして明星大学空手道部の部員たち、みなさんに見て頂くため一生懸命、稽古してきました。印象に残っていますか。今日はその空手の歴史について少々お話しをしたいと思います。実は空手をやってる人達も意外と知らない人が多いのです。空手道の発祥の地は、琉球(今の沖縄)です。「身にいっさいの武器を持たずに、突き、蹴り、打ちなど全身のあらゆる部位を使って外敵から身を守る事を目的として生まれた武術です。歴史的には、中国福建省から琉球(沖縄)に約500人の中国拳法使いが来日し、中国拳法を伝えたと言われています。1429年に琉球王国が誕生し、一切の武器の携帯を禁止するという「禁武政策」が行われたのです。そうした背景から、不意の敵から身を守るために生まれたのが琉球古来の拳法「手(ティー・ティー)」と称されていました。琉球は中国との交流が盛んになって行くにつれて、「手」が「唐手(トーデー)」という呼び方に変化していきました。そして「唐」は「カラ」とも読むので、「唐手(トーデー)」が「空手」になったと伝わった説が有力です。また、身に何も持たないという意味や、もしくは禅宗の教える「空(くう)」を用いたなど諸説色々あります。空手の話をしていると、つい入り込んでしまいエンドレスになってしまいますので、今日はこの辺にしきまして、次回は「伝統空手四大流派」とそれに伴う2020年東京オリンピック正式種目になった「競技空手」の型と組手を「どう観たらテレビで面白く観戦できるか」をお伝えしたいと思いますので乞うご期待ください。



中野裕司会長

2017~2018年度 RIテーマ



ロータリー
変化をもたらす

2017~2018年度 国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー

2017~2018年度 クラブテーマ

Be surprised!! Rotary!

「感動を忘れずに!」

東京立川ロータリークラブ
会長 中野裕司



司会進行
坂本敏城委員



ニコニコ発表
岩田明彦委員



出席率の発表
井上修一委員長



例会時には必ずバッジをつけましょう